

東海大学医学部付属八王子病院では、  
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して  
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。  
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

### 【研究課題名】

遠位橈骨動脈アプローチによる冠動脈カテーテル検査・治療後の新しい圧迫止血デバイスの有効性並びに安全性評価に関する研究

### 【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、新たな止血デバイスの使用が有効かつ安全かどうかを検証することを目的としています。

### 【研究の対象となる方】

2018年11月1日 から 2019年1月30日 までの間に、  
当院の循環器内科で入院中、待機的に経皮的冠動脈形成術および心臓カテーテル検査を手首から受けられた方です。

### 【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2019年2月28日 まで

### 【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

・診療情報等：年齢、性別、診断名、冠動脈危険因子の有無、抗血小板・抗凝固薬の内服状況、  
手技内容（CAGあるいはPCI）、穿刺前RA・dRAの断面長径・使用シースサイズ、手技時間（シース挿入から抜去時間）、止血デバイス装着時間（シース抜去から止血デバイスを外すまでの時間）ならびにその間の注入空気量、止血プロトコルでの止血の可否、翌日の穿刺部拍動ならびに出血・神経学的異常の有無、装着時間が延長した場合はその原因、1か月後の穿刺部拍動ならびにRA・dRAの断面短径

### 【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

### 【問い合わせ先】

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5016）

研究責任者 循環器内科 吉町 文暢

問い合わせ担当者 循環器内科／事務局 河村 洋太